

次の **I** の問題は新課程の歴史総合の問題です。「世界史(新)」の受験者が解答してください。(解答番号は **1** ～ **14**)

I 次の A～G は、19 世紀のアジアにおける列強の進出に関する見出しの事項と ①～④ の文から成り立っている。①～④の中には、見出しの事項より後におきた出来事を記した文が 2 つ含まれている。それはどれとどれか。解答の順序は問わないが、両方とも正解のときにのみ点が与えられる。(28点)

A アヘン戦争がはじまった。 **1** , **2**

- ① 異国船打払令(無二念打払令)が出された。
- ② 天保の薪水給与令が出された。
- ③ 南京条約により、清は 5 港を開港した。
- ④ レザノフが長崎に来航した。

B アメリカ＝メキシコ(米墨)戦争でアメリカが勝利した。 **3** , **4**

- ① ペリー艦隊が浦賀沖に来航し、幕府は国書を受け取った。
- ② アメリカがテキサスを領土に編入した。
- ③ 日米和親条約が結ばれた。
- ④ アメリカ艦隊が初めて浦賀沖に来航したが、幕府は通商を拒否した。

C 第 2 次アヘン戦争(アロー戦争)が勃発した。 **5** , **6**

- ① 北京条約によりロシアが沿海州を獲得した。
- ② イギリスとタイの間でポーリング条約が結ばれた。
- ③ 太平天国の建国が宣言された。
- ④ 日米修好通商条約が結ばれた。

D 薩英戦争が勃発した。

7

8

- ① 生麦事件が起きた。
- ② 幕府が海外渡航を解禁した。
- ③ 米英仏蘭の四国連合艦隊が下関砲台を攻撃した。
- ④ 横浜・長崎・箱館の3港で海外貿易がはじまった。

E 清仏戦争が勃発した。

9

10

- ① 天津条約により、ベトナムがフランスの保護国となった。
- ② フランスがベトナムに軍事介入し、サイゴンを占領した。
- ③ フランス領インドシナ連邦が成立した。
- ④ 劉永福が組織した黒旗軍がフランスに抵抗をはじめた。

F イギリスがシク戦争で勝利した。

11

12

- ① イギリスが東インド会社を解散させた。
- ② イギリスがマイソール戦争で勝利した。
- ③ イギリスがマラーター戦争で勝利した。
- ④ イギリスの支配下でインド帝国が成立した。

G イギリスがマレー連合州を結成させ、保護国とした。

13

14

- ① アメリカ＝スペイン(米西)戦争が勃発した。
- ② イギリスがペナン・マラッカ・シンガポールを海峡植民地とした。
- ③ フィリピン革命がはじまった。
- ④ フィリピンを支配していたスペインがマニラを正式に開港した。

次の **Ⅱ** の問題は旧課程の世界史の問題です。「世界史(旧)」の受験者が解答してください。(解答番号は **15** ～ **21**)

Ⅱ 次の問い(問1～問7)に答えよ。(28点)

問1 ラテン散文の名文といわれる『ガリア戦記』を著した人物を、次の①～④のうちから選べ。 **15**

- ① ウェルギリウス ② カエサル
③ キケロ ④ プルタルコス

問2 中国の歴史書『漢書』を編纂した人物を、次の①～④のうちから選べ。 **16**

- ① 鄭玄 ② 司馬遷 ③ 班固 ④ 董仲舒

問3 旅行記『仏国記』を著した人物を、次の①～④のうちから選べ。 **17**

- ① 鳩摩羅什 ② 陶潜 ③ 仏図澄 ④ 法顕

問4 科学技術書『天工開物』を著した人物を、次の①～④のうちから選べ。 **18**

- ① 王守仁 ② 徐光啓 ③ 宋応星 ④ 李時珍

問5 『人間不平等起源論』や『社会契約論』を著した人物を、次の①～④のうちから選べ。 **19**

- ① ヴォルテール ② デイドロ
③ モンテスキュー ④ ルソー

問6 『ロビンソン＝クルーソー』を著した人物を、次の①～④のうちから選べ。 **20**

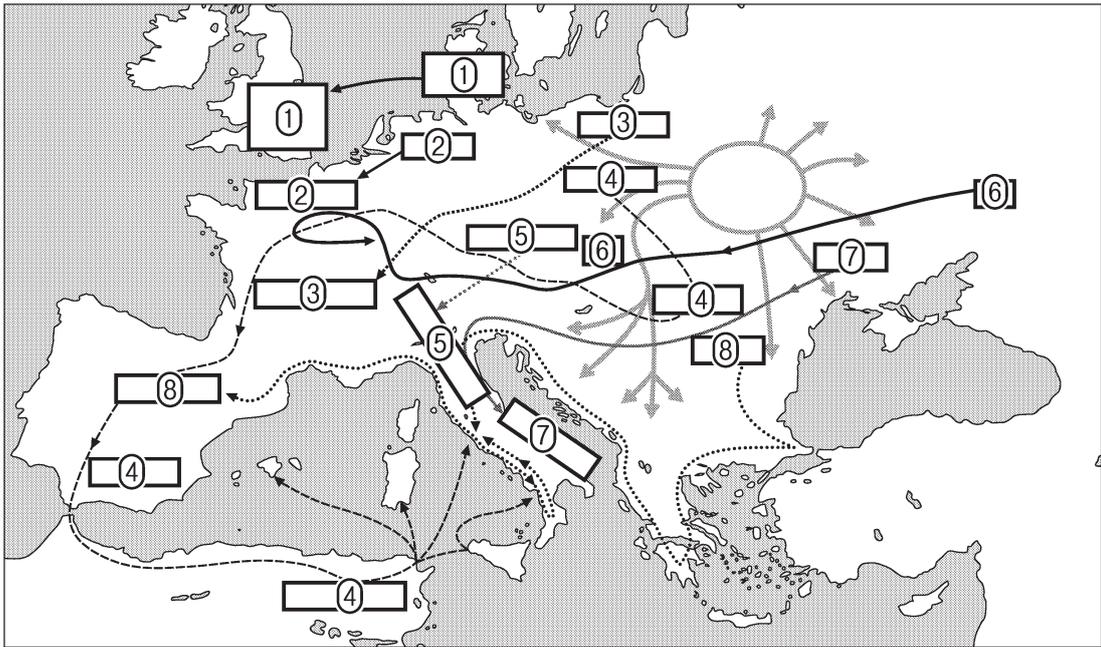
- ① スウィフト ② デフォー ③ バンヤン ④ ミルトン

問7 『種の起源』を著した人物を、次の①～④のうちから選べ。 **21**

- ① コッホ ② ダーウィン ③ パストゥール ④ メンデル

次の Ⅲ ～ Ⅴ の問題は「世界史(新)」および「世界史(旧)」の受験者に共通の問題です。いずれの受験者も解答してください。(解答番号は 22 ～ 45)

Ⅲ 次の地図はゲルマン人とスラヴ人の移動を描いたものである。これを見て、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)



問1 西ゴート人の移動を示すものを、上の地図の①～⑧のうちから選べ。また、西ゴート王国を滅ぼしたイスラームの王朝を、次の①～④のうちから選べ。

移動 = 22 , イスラームの王朝 = 23

- | | |
|-----------|---------|
| ① アッバース朝 | ② ウマイヤ朝 |
| ③ ファーティマ朝 | ④ ブワイフ朝 |

問2 フン人の移動を示すものを、上の地図の①～⑧のうちから選べ。また、パannoniaを中心に大帝国を建てた王を、次の①・②のうちから選べ。両方も正解の時のみ点が与えられる。 移動 = 24 , 王 = 25

- | | |
|---------|----------|
| ① アッティラ | ② テオドリック |
|---------|----------|

問3 ランゴバルド人の移動を示すものを，地図の①～⑧のうちから選べ。また，ランゴバルド人の語族を，次の①～④のうちから選べ。

移動 = ， 語族 =

- ① アルタイ語族 ② インド＝ヨーロッパ語族
③ ウラル語族 ④ シナ＝チベット語族

問4 東ゴート人は，ビザンツ皇帝の命令を受けて移動し，オドアケルの王国を倒し建国した。東ゴート人の移動を示すものを，地図の①～⑧のうちから選べ。また，建国した年を，次の①～④のうちから選べ。

移動 = ， 建国した年 =

- ① 449年 ② 493年 ③ 499年 ④ 568年

問5 ヴァンダル人，フランク人の移動を，地図の①～⑧のうちから選べ。ただし，両方とも正解の時のみ点が与えられる。

ヴァンダル人 = ， フランク人 =

問6 アングロ＝サクソン人の移動を示すものを，地図の①～⑧のうちから選べ。また，アングロ＝サクソン七王国が一つの王国に統一された世紀を，次の①～④のうちから選べ。

移動 = ， 統一された世紀 =

- ① 6世紀 ② 7世紀 ③ 8世紀 ④ 9世紀

IV 次のA～Gの事項は、16世紀の宗教改革の流れを示したものである。これを見て、下の問い(問1～問6)に答えよ。(24点)

- A 教皇レオ10世、贖宥状の販売を許可
- B ルター、「九十五カ条の論題」を発表
- C ルター、『キリスト者の自由』を発表
- D ルター、教皇から破門され、皇帝から自説撤回を要請される
- E ルター、反皇帝派の諸侯に保護される
- F ドイツ農民戦争
- G アウクスブルクの和議

問1 [Aに関して] この贖宥状は大聖堂の改築を目的として発行・販売されたが、その大聖堂を、次の①～④のうちから選べ。

34

- ① ケルン大聖堂
- ② サンタ＝マリア大聖堂
- ③ サン＝ピエトロ大聖堂
- ④ ノートルダム大聖堂

問2 [B・Cに関して] ルターの説として正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

35

- ① 「人は信仰を通して神に救われる」とした。
- ② 真の信仰は、教会による導きではなく、信徒がみずから聖書を読むことで得られるとした。
- ③ 聖職者と一般信徒との区別を廃する万人司祭主義を説いた。
- ④ 聖職者は、妻帯を許されないとした。

問3 [Dに関して] このときの皇帝を、次の①～④のうちから選べ。

36

- ① カール4世
- ② カール5世
- ③ フェリペ2世
- ④ フリードリヒ2世

V ウィーン会議に関する次の文章を読み、下の問い(問1～問6)に答えよ。

(24点)

1814年9月から15年6月まで、ウィーン会議はフランス革命やナポレオンによる一連の戦争後のヨーロッパの秩序を再建する目的で開かれた。議長として **A** はこの会議を主催し、フランス代表としてこの会議に参加した **B** は自国の戦争責任を回避し、ブルボン朝の復活を擁護した。1815年に会議の結果はウィーン議定書にまとめられ、ロシア皇帝は **C** 国王を兼ねて西方へと支配領域をのぼし、**D** も東西に領土を拡大した。ウィーン議定書によりドイツはドイツ連邦として認められ、イギリスは、⁽¹⁾セイロン島やケープ植民地などを得て世界帝国への基礎を固めた。1815年にはキリスト教の友愛精神を基調とする君主間の同盟である⁽²⁾神聖同盟が、また、同年にはウィーン会議で成立した国際秩序である⁽³⁾ウィーン体制を維持するために⁽⁴⁾四国同盟も成立した。

問1 **A** ・ **B** に当てはまる人名を、次の①～⑥のうちから選べ。

40

- | | | |
|---|------------|------------|
| ① | A = ビスマルク | B = メッテルニヒ |
| ② | A = ビスマルク | B = タレーラン |
| ③ | A = メッテルニヒ | B = ビスマルク |
| ④ | A = メッテルニヒ | B = タレーラン |
| ⑤ | A = タレーラン | B = ビスマルク |
| ⑥ | A = タレーラン | B = メッテルニヒ |

問2 C ・ D に当てはまる国名を、次の①～⑥のうちから選べ。

41

- ① C = オランダ D = プロイセン
- ② C = オランダ D = ポーランド
- ③ C = プロイセン D = オランダ
- ④ C = プロイセン D = ポーランド
- ⑤ C = ポーランド D = オランダ
- ⑥ C = ポーランド D = プロイセン

問3 [下線部(1)に関して] イギリス領として認められる以前に、領有権を握っていた国を、次の①～④のうちから選べ。

42

- ① オランダ ② スペイン ③ フランス ④ ポルトガル

問4 [下線部(2)に関して] 神聖同盟を成立させた人物を、次の①～④のうちから選べ。

43

- ① アレクサンドル1世 ② ナポレオン3世
- ③ ニコライ1世 ④ ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世

問5 [下線部(3)に関して] ウィーン体制とヨーロッパの政治や社会の変動に関する記述として下線部が正しくないものを、次の①～④のうちから選べ。

44

- ① 1815年にはブルシェンシャフト運動が、1825年にはデカブリストの反乱があいついでおこった。
- ② 1830年、ベルギーがオランダから独立した。
- ③ 1834年、ドイツ関税同盟が発足した。
- ④ 1848年、オーストリアでは学生・市民・労働者による二月革命がおこり、ウィーン体制は消滅した。

問6 〔下線部(4)に関して〕 この同盟に1818年に新たに加わった国を、次の①
～④のうちから選べ。

45

- ① オランダ ② スペイン ③ フランス ④ ポルトガル